

令和4年10月八戸市教育委員会定例会会議録

| | | | |
|---------|-----------------------|-----|-----|
| 開催日時 | 令和4年10月26日(水) 午後1時30分 | | |
| 場 所 | 市庁本館3階 議会第4委員会室 | | |
| 出席者 | 教育長 | 伊藤 | 博章 |
| | 教育委員 | 油川 | 育子 |
| | 教育委員 | 小瀬川 | 喜井 |
| | 教育委員 | 福井 | 武久 |
| | 教育委員 | 西山 | 康巳 |
| 事務局出席職員 | 教育部長 | 石亀 | 純悦 |
| | 教育部次長兼教育総務課長 | 鈴木 | 伸尚 |
| | 教育部次長 | 大館 | 秀光 |
| | 博物館長 | 小保内 | 裕之 |
| | 学校教育課長 | 熊谷 | 誠二 |
| | 教育指導課長 | 梅内 | 太郎 |
| | 社会教育課長 | 三浦 | 幸治 |
| | 是川縄文館副館長 | 松橋 | 広美 |
| | 総合教育センター所長 | 河村 | 雅庸 |
| | こども支援センター所長 | 佐々木 | 誠 |
| | 図書館副館長 | 磯嶋 | 奈都子 |

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和4年10月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、西山委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第34号「八戸市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について」事務局からの説明をお願いします。

議案第34号 八戸市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について

(梅内教育指導課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

〔質疑なし〕

それでは、議案第34号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

御異議がありませんので、議案第34号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第35号「八戸市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いします。

議案第35号 八戸市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

(熊谷学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

〔質疑なし〕

それでは、議案第35号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

御異議がありませんので、議案第 35 号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第 36 号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について」事務局からの説明をお願いします。

議案第 36 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

(鈴木次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第 36 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

御異議がありませんので、議案第 36 号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。はじめに「令和 4 年度第 2 四半期の業務報告について」は、事前の質問はいただいておりませんでした。委員の皆さんから御質問等ありますでしょうか。

【令和 4 年度第 2 四半期の業務報告について (質疑応答)】

(福井委員)

質問というよりも感想と要望になりますので、そのまま聞いていただければと思います。次の四半期にも関係することなのですが、学校訪問に帯同して思うことをちょっと述べたいと思います。急速に進展する情報教育に向き合う教育現場の大変さを見てきました。本日の議案でも出されていた評価報告書の中でも評価が「A」になっていて、確かにハードの面ではかなり進んでいますので、教育委員会事務局の御苦勞がしのばれるところです。

1 人 1 台端末を活用した授業作りなのですから、その有効性は明らかです。ただ一つ心配なのは、特に年配の先生方がそうだと思うのですが、キーボード操作といいますが、パソコン操作の苦手な先生のストレスが少し心配される状況です。やはり、学校によって少し温度差があるかなと思っておりました。今から約 20 年前、時代のニーズに合わせて、高校では教科「情報」が必修化されました。当初は専任の教員がいなかったので、専門知識を持った数学と理科の先生方が研修とか試験、レポート等で臨時免許証を持ちまして、代用してやっていました。今更ながらに、その先生方の御苦勞がしのばれるところです。それに比べると、小・中学校では高校のような情報科の教員がいません。パソコン操作に堪能な一部の教員に負担が集中しているのではないかなと危惧しております。実際に、高校側でもそういう状況がございました。

令和 7 年度、今の高校 1 年生から大学共通テストにも教科「情報」が盛り込まれます。最近では、世の中に出ると、保険とか金融とか医療、服飾関係にもタブレットを使いこなしている店員さんが結構見られ

るようになりました。1人1台端末のICT教育は、いまだに試行錯誤の状況が続いていると思いますが、是非とも教育委員会各課が連携して、これまでも増して研修講座の充実や校内研修の支援に努めていただきたいと思います。さらに、先ほど言いました教員のストレス過多にも配慮していただいて、引き続き児童生徒と直接向き合う教員の支援体制の強化に注力していただきたいと思いますと感じておりましたので、よろしく願いいたします。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほかございませんでしょうか。

(小瀬川委員)

この第2四半期の業務報告を拝見いたしまして、本当に中止になる行事が僅かになったなど感じています。延期になったものもありましたけれども、ほとんどの予定を開催できましたことは、企画に携わってくださいました方々の感染防止への対策であったり、御苦勞であったり、御腐心されたことが多かったであろうと思っております。その中で開催してくださったことに非常に感謝を申し上げます。

少し前の事業だったのですけれども、広報はちのへの8月号の表紙に、南郷図書館で開催された「1日体験! 図書館司書」の写真が使われていたのがすごく心に残ったので、感想を申し述べさせていただきます。非常に真剣に取り組んでいて、笑顔のある写真ではなかったのですが、子どもたちが真剣に取り組んでこそ感じる楽しさの部分を経験しているようで、非常によい企画だったというふうに感じました。やはり、子どもたちにこういった体験型の企画というのは、ただ一過性のものでなくて、非常に心にも残りますし、その後の人生のいい糧になるのではないかなと思いました。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

[質疑なし]

【令和4年度第3四半期の事業予定について（質疑応答）】

(伊藤教育長)

それでは、次に入ります。「令和4年度第3四半期の主な事業予定について」は、事前に質問をいただいております。2ページ「就学援助」について、小瀬川委員からお願いします。

(小瀬川委員)

2ページの2番「就学援助」の新入学児童生徒学用品費等小学校入学前支給についてお伺いします。例年、こちらに該当される方の中で、入学前支給を申請される方がどのくらいいらっしゃるのか、そして、申請の方法に関してもお伺いしたいと思います。よろしく申し上げます。

(熊谷学校教育課長)

小瀬川委員の御質問にお答え申し上げます。新入学児童生徒学用品費等小学校入学前支給に関する入学前と入学後の人数についてでございますけれども、令和元年度から3年度までの支給実績の平均で、入学

前が45.6%、入学後が54.4%となっております。ちなみに、令和5年度の新小学校1年生の準要保護児童見込みの人数が239人というふうに試算しております。この数字は、令和5年度の小学校1年生の見込みの在籍者数1,706人に、令和元年度から3年度の平均認定率14%を掛けて算出している数値でございます。ですので、ここから計算いたしますと、推定的人数は入学前が109名、入学後が130名となる見込みでございました。

また、申請方法につきましては、受付の期間を令和4年11月28日から12月16日までとしておりまして、その必要な書類を学校教育課に直接提出することになっております。審査結果の方は、令和5年1月末までに郵送で送付し、認定された場合には令和5年2月上旬に振り込まれる予定となっております。

なお、入学前支給に関する周知につきましては、令和4年10月7日発送済みの就学通知書にチラシを同封するとともに、広報はちのへ10月号にもお知らせ記事として掲載させていただいております。以上でございます。

(小瀬川委員)

はい、ありがとうございます。まず、この3週間という期間も長く設けていただいているということと、100人以上の方の受付をしてくださっていること、また振込みに向けての準備であったり、非常に大変な業務であるかと思うのですけれども、県内の市町村では、市役所に来庁しての手続きではなく、郵送での申請を受け付けているところもあるようです。2月の中旬の早い時期に振り込まれるというのは、本当にこの支援が必要な方にとっては、すごく助かることだと思うのですけれども、開庁時間の平日に訪れることが難しい方であったり、このコロナ禍において来庁することが難しい方もいたりすると思います。他市町村と比較して、必ずしも右ならえでは決してないのですけれども、確実に支援を届けるといったところでも検討していく必要があるのではないかなと思いました。

(熊谷学校教育課長)

貴重な御意見、大変ありがとうございました。窓口を担当している者から伺いますと、やはり提出書類の記載誤りが結構多くあって、対面でやり取りをしながら手続きを進めていく方が、郵送で行うよりも効率がいいという話も聞いておりました。ただ、委員が御指摘されたとおり、様々な事情やこういう状況下を踏まえますと、郵送による申請についても、他市町村の取組等も含めて研究させていただければなと思っております。どうもありがとうございました。

(小瀬川委員)

丁寧な御説明ありがとうございました。やはり、一番は確実に支援を届けるということだと思います。対面の方がいい部分もあるようですので、今後何かの折に研究、議論していただければと思います。

(伊藤教育長)

関連質問はございませんか。

[なし]

(伊藤教育長)

次に、7ページ「市民大学講座」について、小瀬川委員からお願いします。

(小瀬川委員)

7ページの「八戸市民大学講座」について、お伺いしたいと思いました。この第6講義についてでしたが、講師の先生は「ざんねんないきもの辞典」の著者の今泉先生ということで、子どもたちの中には本を持っている子もいるのかなと思いますけれども、聴講にいらした市民の方々の年齢層というか、児童生徒も含まれていたのかなというところが少し気になりまして、御質問します。

(三浦社会教育課長)

小瀬川委員の御質問にお答え申し上げます。第6講義は161人の方がお聞きになったのですが、このうち児童生徒さんは10人で、親子連れでの受講ということで報告を受けております。以上です。

(小瀬川委員)

ありがとうございました。自分自身も20代の頃に、初めて市民大学講座を受けさせていただいたのですが、「大学」と付いているので、なんとなく大人対象のイメージがありました。しかし、こうして親子で受講できるような内容ですと、それこそ3世代で受講できたり、お家に帰ってからも家族との話題に上がったりするかとも思いますので、こういった講座、講師の先生の選択というのも面白いものだと思います。来年も楽しみにしています。よろしくをお願いします。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(油川委員) 時期

私からは、学校教育課の学校給食に関することについて、お礼と質問をさせていただきたいと思います。まずは、お礼を申し上げたいと思います。幼児期から小学校への滑らかな接続の活動の一つとして、給食センターへの見学会というものがあるのですが、給食センター所長をはじめとする皆様が、毎年園児の訪問を快く引き受けてくださいますこと、大変ありがたく思っております。給食センター見学会での様々な体験を通して、そしてまた、厨房で給食を作ってくださっている方々が、調理の手を休めて子どもたちに手を振ってくれたり、そのような温かな経験もあって、特に少食の子どもたちは安心感が得られているようで感謝に絶えません。毎年ありがとうございます。

次に、質問をさせていただきます。3ページの「(2)第2回献立検討会議」になります。すでに会議は終わっているようなのですが、内容は1月から3月分の献立検討ということでしたので、具体的にどのような検討をなさったかを、分かる範囲で結構なのですが伺いたいと思います。

(熊谷学校教育課長)

油川委員の御質問にお答え申し上げます。各月の給食メニューの中には、その時期ならではの食材を活用した献立であったり、それから季節食というのでしょうか、お雑煮のようなものであったりというふう

な郷土料理のもの、それから、年間何回かですが、全国の郷土料理を取り入れた給食というものが献立の中に入っていました。栄養のバランスなどを加味しながら組んでいくのですが、その献立一つ一つを説明して、皆さんから意見をいただき、今後の献立作成に参考にしていくという会議になっておりました。

(油川委員)

はい、ありがとうございます。子どもたちの栄養面とか食育の観点から、皆さん知恵を出し合って取り組んでおられる様子を感じることができました。それに加えて一つ提案なのですが、SDGsの観点から考えられる献立について検討なさってみてはいかがでしょうか。もしかしたら、すでにやられているかもしれませんが、例えば、人参とか大根のような根菜は皮を剥かずに調理したり、ブロッコリーのように茎も食べられるようなものは、茎も一緒に調理したり、また、衛生面において問題がなければ、個包装のものを取り除いて提供したりする時があってもいいのではないかなと思いました。

そして、例えばなんですが、美しい地球を守るための「給食SDGsデー」というふうに名付けて、環境に特化した給食メニューにすることで、食育につながるのかなとも思いました。また、そういった給食を提供する時には、保護者の方にレシピを紹介することで、さらに家族を含めた食品ロス対策にもつなげられるのではないかなと思いましたので、提案をさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

(熊谷学校教育課長)

貴重な御意見、大変ありがとうございました。実践している部分もあるかもしれませんが、私の方から担当にもしっかりと伝えたいと思います。大変ありがとうございました。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

[質疑なし]

次に、「令和5年八戸市成人式の実施について」事務局からの説明をお願いします。

【令和5年八戸市成人式の実施について】

(三浦社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

次に、「令和3年度 退任ALTについて」事務局からの説明をお願いします。

【「是川縄文の日」の開催について】

(松橋是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

次に、「第12回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール」受賞作品の決定について」事務局からの説明をお願いします。

【「第12回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール」受賞作品の決定について】

(磯嶋図書館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

(福井委員)

先月の委員会で、横断歩道で車がよく止まってくれるという話を言いましたが、昨日の報道で、青森県はその割合がワースト3位から全国7位に急上昇したというニュースを聞きまして、非常にタイミングのいい話だったなと思っておりました。やはり、これで普段から止まるようになっているんだなと。県警の方は、これは広報のおかげだというふうに言っておりましたが、八戸市民としては、やはり八戸市の小・中学生の態度が素晴らしいからかなと思っておられますので、この良かった結果を児童生徒にも言って、さらに上を目指していければと思います。

ただ、車を運転していて思うのが、横断歩道で手を挙げない子たちがいるので、手を挙げてほしいなと思いました。ちょっとしたことが事故防止につながると思いますので、また指導していただければと思います。各学校でもされているとは思いますが、よろしく願いしたいなと思います。以上です。

(伊藤教育長)

そのほか、ございませんか。

(西山委員)

では、感想だけ申し上げたいと思います。評価報告書等から、これまでの対応の工夫・改善、さらに、それに対しての効果というところが伺われて、非常にありがたいなというふうに思っております。コロナの状況になり今年度で3年目を迎えるわけですが、最近だいぶ柔軟な対応をできるようになってきたので

はという感じで捉えております。ただ、まだまだ感染状況、罹患状況の増減がありますので、今までと同じようにはできないと思いますが、学校現場の方もこの3年間でコロナ対応を踏まえた新しい様式、スタイルが徐々に確立されてきているのかなというふうに思っていました。

先ほど話のあった ICT 活用というところも、その一つだと思いますが、現場の方ではまだまだ支援が必要なところが多いように思います。私もこれから学校訪問などを通して、現場の状況を把握しながら、皆さんとも情報共有して、よりよい対応をしていけるように努めていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(伊藤教育長)

そのほか委員の皆様から何かございませんか。

[なし]

閉 会

これをもちまして令和4年10月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時29分閉会)